



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Masanori Ooiwa Address: 〒654-0013 1-1-5 Ote-cho, Suma-ku, Kobe, Japan
 Mail : herculesbeatles@gmail.com Tel. : 078-737-0850
 URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 Kim Sang-Chae(Korea)
 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポートクラブ)
 “Make a difference beyond the 100th”
 「100年を越えて変革しよう」 スローガン:「健康第一！」
 西日本区理事 新山兼司(京都トップス)
 “Challenges for the future” 未来への挑戦
 六甲部部长 大野智恵(神戸ポートクラブ)
 寄り添い、分かち合い～『三方よしで、みんな笑顔』
 Snuggle up and share with you “Smile on each side”
 芦屋クラブ会長 大岩雅典
 ワイズメン相互の知識理念の共有

今月の聖句

「驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない……さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」 <マルコ福音書 16:6～7>

5月第1例会

と き: 2022年5月18日(水) 19:00～21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋 (敬称略)
 司 会: 坂本孝司担当主事

- 開会点鐘 大岩雅典会長
- クラブソング 斉唱 一同
- 聖書朗読 羽太英樹ワイズ
- 食前感謝 上野恭男ワイズ
- 会食・歓談
- ゲストエンターテイナー 趙昌徳(チョウマサル)氏
 「映画主題歌胎教曲披露とギター弾き語り」
- 五十嵐政二ワイズ、五十嵐かほるメネットご挨拶
- 事務報告 大岩雅典会長
 各事業委員報告 各事業委員
- YMCA報告 坂本孝司担当主事
- ニコニコ報告 坂東幸子ワイズ
- 誕生日祝い 大岩雅典会長
 権甲植ワイズ、大澤昌子・菅原順子(各メネット)
- 閉会点鐘 大岩雅典会長

会 長 大岩雅典
 直前会長 大岩雅典
 副 会 長 菅原 進・福原吉孝
 書 記 柏原佳子・上野恭男
 会 計 羽太英樹
 監 事 五十嵐政二
 担当主事 坂本孝司
 六甲部メネット主査 上野恭男

5

May, 2022
 299号

姫路グローバル例会「タケノコ狩りとBBQ」

会長 大岩雅典

姫路グローバルクラブ4月例会は 4月16日(土)「タケノコ狩りとBBQ を楽しむ」とのことで、芦屋クラブにお誘いがありました。芦屋クラブからは大岩会長ファミリー4人が参加させていただきました。天候にも恵まれさわやかな気候の中、会場の新井みちるワイズ宅へ集合しました。昨年も芦屋クラブからは7名が参加させていただきました2回目の交流会となりました。新井ワイズの開会点鐘で始まり、まず裏山でのタケノコ狩りの開始、新井ワイズのお宅のお庭でBBQの火起こし食材の陳列など、皆さん手際よく準備が進められました。山から下りてくるころにはすっかり準備が整い姫路グローバルクラブの方々のおもてなしの心に感謝感激です。沢山のごちそうが並び、取れたてのタケノコ料理に舌鼓、本当に美味しかったです。大岩広侖コメントは農業体験ということで芝刈りの実践までさせていただきました。食後は大岩恵美メネットと私の演奏をご披露いたしました。新井ワイズのご友人のお孫さんもバイオリンで飛び入り参加、楽しいひと時を過ごさせていただきました。お土産にいただいたタケノコはすぐ下処理し娘のママ友さんや、大岩恵美メネットの実家へ配り新鮮で癖もなく大変おいしかったと喜んでいただきました。こんなたのしい交流会を提案してくださった姫路グローバル、三宅ワイズ、新井ワイズ、橋崎ワイズに感謝いたします。毎年続けたいとお申し出ですのでもた来年もお会いできるのが楽しみです。次回は皆様も是非一緒に！

4月例会集計

第1例会出席		例会出席率		BF切手	
メンバー	14名	出席者	14名	累計	gm
ビジター	名	メイクアップ	名	ニコニコ	
ゲスト	5名	合計	名		
メネット	名	在籍者	19名	9,300円	
コメット	名	(内広義会員1名)			
合計	19名	出席率	77.8%	累計	73,710円

4月第1例会報告

日時： 4月20日(水) 19:00~21:00

場所： ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者： 上野恭男、大岩雅典、柏原佳子、桑野友子、
島田 恒、堤 清、中山豊美、羽太英樹、
濱瀬眞知子、坂東幸子、福原吉孝、増田知子、
山口光一(各ワイズ)、坂本孝司担当主事

ゲスト： 嶋田博行(ゲストスピーカー)、奥田実(中山友人)
大西 謙、橋本 薫、渡辺徹也(島田友人)

今回の開催は、久しぶりのホテル竹園での開催で、最初から楽しい雰囲気での開始であった。

大岩会長の開会点、クラブソングの斉唱で開始し、今月の聖句では、羽太メンより、私達が考えもしなかったウクライナの戦争という悲しい出来事があり、心を痛めている世界中の人々に対する聖句であり、早く平和な世界の実現を祈る聖句であった。



今月のゲストスピーチでは、嶋田博行 神大名誉教授より、「心理学って何??」というテーマでの講演であった。

講演では、心理学という学問は、心の仕組みを理解する学問で、怒り、悲しみ、喜び、感動等の心の動きが人の心の多種多様な反応を科学的に分析する学問と思っていたが、講演からは、「それだけが・・・心理学ではない」とのことである。心理学の研究は人の行動に注目し、研究する学問であり、心理を理解した上で教育に生かしたり、統計を併用するなどしてマーケティング活動、チーム活動でのコミュニケーションカへの応用等、幅広い分野で活用する学問あり、世界ではそのような研究があり、単なる心の有り様を研究する学問ではないとのことである。大変レベルの高い内容であり、今まで、抱いていた心理学とは違う印象を受けた。島田ワイズより追加発言があり、嶋田先生の心理学の考え方、見識の解説があり、少し判った気がした・・・?

続いて事務連絡、各事業報告、YMACA報告があり、誕生祝いと行事が進行した。

次回5月18日、第一例会は「映画音楽を楽しむ」をテーマにゲストを招く企画である。楽しい会になりそうだ。皆様、期待して参加ください。 福原吉孝

姫路グローバル例会「タケノコ狩りとBBQ」



- ① 大岩会長と恵美メネットの演奏
- ② コメットとタケノコ
- ③ 姫路グローバルクラブの皆様と

「さくら祭り物語」Ⅱ

桜の木の下で、杖を手に柔和な笑顔でこちら側(チヂミのお店)を見ておられる五十嵐政二ワイズの存在感のある姿にいつも励まされました。こちらには、堤ワイズ・福原ワイズの両名人が1日中立ちっぱなしで鉄板の前で大奮闘、すっかりチヂミ屋さんの大将になりきっておられます。鉄板からは、いい匂いが立ちこめ行列が出来はじめると綺麗なエプロン姿の板東ワイズも五十嵐メネットも、列の整理に走り回っている私もすっかり女将気分！買い物客が旗を見て「ワイズメンズクラブって？」と尋ねられ「YMCAをサポートするボランティアクラブです」と答えると「やはりね！」と納得されるお客様もいらしてホットしました。店の中では、大御所上野ワイズ伝受のお粉と人参・ニラをこねる作業を、桑野ワイズが引き継ぎ、作りながらも会計の管理、それを受けて羽太会計が売上げ金を整理され、「今日の売り上げで経費は賄える」という報告に疲れは飛んでしまったものです。

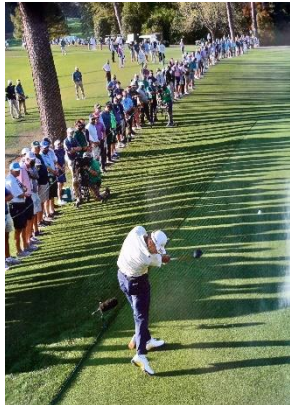


ブルーのユニフォームは篠坂ワイズのお世話で前任の藤田連絡主事も応援に！

こんな恵まれた日ばかりではありません。最初の頃、大雨が降り手持ちのコンロ5台が全部壊れ、なにかもびしょ濡れ・・・人通りもまばらで、ともかくもお店に入り、上野、堤、桑野、柏原の4人で濡れたお札とコインを数えたときの事は今も忘れられません。中山ワイズが、朝早く沢山の差し入れを届けてくださり「こんなに朝早くから！大変！」と感心されたり、メネットさん達のご家族への「チヂミのお持ち帰り」の協力も嬉しい事でした。新しく上野案のワイン販売が誕生、グラス一杯 200 円のワインは飛ぶように売れました。五十嵐ワイズがテントの中に座られてワインの管理をされました。いつもご自分の居場所を作っておられました。島田ワイズもワイングラスをお盆に乗せて、出張販売を楽しまれる様になりました。三島連絡主事が車から店まで段ボール3箱抱えて運ばれた頼もしさ、綿菓子販売に人数が足りないと解るとご友人まで誘われての強力な助っ人でした。藤田連絡主事の時は、大勢の中学生リーダーが若さを発揮して「チヂミのお店」は、有名になり、六甲部はもちろん、西日本区からも会議の帰りに立ち寄っていただきました。東北大震災時にはさくら祭り中止もありました。そしてコロナ禍は私達の素晴らしい交流の場と、持てる力を個々に生かす団結力を全て奪ってしまいました。川向こうから聞えるジャズ、ライトアップされた桜の木の下でのカントリーダンス、懐かしい思い出が溢れてきて涙が出そうです。 柏原佳子

魅せられて XVI

◆87年の歴史をもちゴルフ世界一を競う【2022/マスターズ・トーナメント】がアザリア満開のジョージア州【聖地・オーガスタ・ナショナル GC】に華々しくやって来た。◆昨年に引き続き史上4人目の連覇を目指している、【学生アマチュア出身の松山選手】の健闘を期待して、我が国のゴルフファンは連日連夜テレビに釘付けだったのでは……。◆彼は3月上旬に傷ついた頸椎周辺の痛みを抱え、前週のPGA ツアーも途中棄権の状態だった。その中での参戦が心配だったが《初日》は彼と同じく昨年の大きな車両事故後、復帰した米国の名手【タイガー・ウッズ】と同組で回りオープンパー・72st でスタート。《2日目》は精度の高いアイアンショットとアプローチで3アンダーとし、トップと5打差の2位に浮上。《3日目》は無理が重なり疲れが出たのか77stとスコアを崩す。◆それでも《最終日》NO-1はピンに絡めたがバーディーパットを外しパー。NO-2～NO-3は風が強く、いずれもグリーンを外しボギー。◆でも続く2ホールは見事なアイアンショットで連続バーディー。そして【《サンデー・バック・9》の悲劇から……。】と呼ばれる後半、【アーメンコーナー】を含む3つの難関ホールも【果敢に攻める勇気と精一杯ベストを尽くし】72stのパープレイとした。結果は【トータル+2】【トップに12打差の14位】で終えた。◆優勝を狙う準備としては、怪我也含め不十分であっ



たかも知れない。だが言い訳は一切せず毅然として4日間72ホールをただひたすら、【ディフェンディング・チャンピオン】としての威厳を保っていた。◆最終18番グリーンにはスタンディング・オペレーションで迎えている大勢のカラフルなパトロン(観客)達に帽子を脱ぎ、手を上げあの登り坂のフェアウェイを堂々とグリーンに向かっていった。その姿は実に清々しくスマートであり、今や『世界のマツヤマ』そのものだった。◆表彰式のセレモニーでは優勝者シエフラー選手(米国・25才)に前回優勝者からの『グリーンジャケット』を笑顔で着せる大役を……。これらの風景は何回見ても感激せざるを…。全力で真摯に闘ったスポーツマンシップは実に美しく。【魅せられたマスターズ】だった。



●追記★【ジャック・ニクラウス6回参加。46才での優勝。】★【タイガー・ウッズ5度の優勝】★【ゲーリー・プレイヤー歴代参加52回】など歴史的記録が残っている。★昨年の優勝者【松山選手】も永久シードを獲得し今後毎年招待される。 篠坂幸彦

ゲストパフォーマープロフィール

趙昌徳(チョウマサノリ)氏

プロ歌手(シンガーソングライター)

写真家、イラストレーター

昭和63年生まれ、京都府宇治

市出身、東京の大学を卒業後

神戸の楽器店に就職

退職後はプロシンガーとして活動

多くのコンテストで受賞、関西のラ

ジオでパーソナリティーとしても活動

2021年には映画「静寂」

うみのはるか監督作品で主題歌”明日を”を楽曲提供、

フォトグラファーやイラストレーターでも活躍中です



中山豊美ワイズより「よしましよ」への献金のお礼状です。

芦屋ワイズクラブの皆さま

御礼と感謝！

いろいろな問題を抱えている地球上ですが、時は巡り自然は季節を運んでくれます。ひとときでも癒やしてくれる。今年、特に「桜が綺麗だなー」と感じませんでした? 「ホーホケキョ」幸せを運んでくれる心に届くウグイスの声も平和です。古来より日本の一番の花 桜咲く頃は、卒業式・入学式・入社式と、どんな社会事情であってもめでたい桜です。世界にコロナを蔓延させた国や、人道的にも許せない戦争を仕掛けるロシア。まだこんな世の中があるなんて信じられない。なんの名誉と征服欲を持つ人間がいる限り続くのか! 阻止を願う。3月から4月は、三寒四温で身体に不調を来す時期で、年齢と共に温度差が堪えてまいります。そんな中、「よしましよ」に早々のお振り込み、皆様方の変わらぬ多額のご支援とご理解で、「大きな愛」をいただきまして心よりの感謝と御礼を申し上げます。いつも有難うございます。余島所長でキャンプ長の阪田晃一さんも皆様の応援に感謝しております。リーフレットで記載させていただいたように、今は叶わぬキャンプも有りますが、今必要とされているキャンプへのチャレンジで、これから生きる若者達を応援したい。これまでは、民主主義教育・日本社会教育適応人材育成キャンプが主だったが、時代による「感情の劣化」により機能しなくなった。これからのキャンプは、社会に必要な人材として、人々を「社会の外」に連れ出し、「感情の回復」を主たる目的とする大事な役割が有ると言う。目を合せて会話できない。意見を言えない。状況判断力がない等、難しいけど、「眼差しのキャンプ」で自然と共存しながら、本来の「感情の回復」を期待したい。阪田晃一さんはリーダー達や、卒業して尚リーダー活動をする人達へ、リモートで阪田ゼミを月一回、夏のONE CAMPに向けたミーティングを行い、YouTubeでの自由に話し合えるキャンプ部屋トーク等を、時間を惜しまず情報発信をし続けています。是非、若者への応援をお願い致します。

令和4年4月 中山豊美

☆永遠の余島と若者支援目的で「ミライへのSDGs基金」を始めました。今後ともよろしく願いいたします。

聖句 読み解き

「春分の日の直後の満月の次の日曜日を復活祭とする」と紀元4世紀のニカイア公会議で定められた。このため、復活祭は毎年日が変わる。今年は4月17日だった。ところがウクライナ正教会や、ロシア正教会などの東方正教会では使う暦が違いため、今年は翌週の4月24日であった。イエスに従う群れの中で愛する師の十字架の死を見届けたのは女性たちだけで、男子の弟子達は危害が自分たちに及ぶのを恐れて逃走したと聖書は記す。空の墓で、女性たちは天使から告げられる。「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と。」物理学者アインシュタインと心理学者フロイトの交換書簡がある。アインシュタインがフロイトに手紙を書いた。「人間を戦争と言う軛から解き放つことは出来るか？ 平和が実現しないのは、人間の心自体に問題があるからだ」と。これにフロイトは「社会を一つにまとめるには、二つのものが要る」と言う。それは「生への欲動」と「死の欲動」だと書いた。イエスは人々に赦しを説いた。イエスの赦しは、フロイトの言う「死の欲動」から「生の欲動」へ変化をもたらすものではないか。イエスはガリラヤに行きなさいと言われた。ガリラヤとは「生の欲動」「愛の欲動」を意味している。

羽太英樹

4月第2例会議事録(抄)

場所： 芦屋市民センター204号室

日時： 4月27日(水) 18:40～ プリテン編集会議
19:00～21:00 第2例会

参加者： 大岩会長、上野、柏原、桑野、島田、羽太、
坂東(各ワイズ)、坂本担当主事

議事・報告

◇第1例会について

- ・ 6月15(水) ホテル竹園芦屋
山口光一・千佳ご夫妻の「祝福の会」
司会： 浜瀬真知子ワイズ
立会人： 権 甲植ワイズ 介添え： 上野恭男ワイズ
立案： 大岩会長・柏原佳子書記
- ・ 7月20(日) 2022-23年度キックオフ例会
部長公式訪問 次期六甲部部長キャビネット御招待
島田 恒ワイズによるメンバー'sスピーチ

◇きらりと輝くアート展

六甲部地域奉仕・環境事業主催、HPでの開催
みどり作業所大澤所長へ作品出展依頼する

◇姫路グローバル交流会報告

大岩会長ご家族4名が参加
報告と写真はプリテン参照

◇3月度会計報告 羽太英樹会計よりなされ、承認

◇YMCA 報告 坂本担当主事報告

留学生数は89人予定だが、交通費等が高騰しており、
困難な状況、既に40名が来日、ミャンマーから等上向きの
状況ではある

◇中山豊美ワイズより5万円寄付の礼状(プリテン掲載)

書記 柏原佳子

編集後記：今年のゴールデンウィーク、帰省や旅行、各地の伝統行事と賑わいが戻ったようです。このまま収束に向かってくれれば嬉しいのですが、... 桑野友子

YMCA ニュース

■神戸 YMCA 三宮会館のさくら

神戸 YMCA 学院専門学校の卒業生たちからの毎年春のプレゼント。神戸 YMCA 三宮会館の西側の斜面にある桜。本館の入り口の裏側の斜面に毎年、きれいな花を咲かせ、私たち職員はもちろん、後輩となる学生たちやライフ&シニアハウスの方々に春の訪れを知らせ、そしてしばらくの間、癒しの時を与えてくれる。ちょっと寒くても、コロナでも、争いがあっても、その美しい姿で、今ここにいることを教えてくれる。今、私たちはどう進んでいくことが求められているのか。いよいよ神戸 YMCA 三宮会館にも新しい学生たちがやります！



館の入り口の裏側の斜面に毎年、きれいな花を咲かせ、私たち職員はもちろん、後輩となる学生たちやライフ&シニアハウスの方々に春の訪れを知らせ、そしてしばらくの間、癒しの時を与えてくれる。ちょっと寒くても、コロナでも、争いがあっても、その美しい姿で、今ここにいることを教えてくれる。今、私たちはどう進んでいくことが求められているのか。いよいよ神戸 YMCA 三宮会館にも新しい学生たちがやります！

■神戸 YMCA 学院専門学校 入学式
2022 年度入学式を無事終えることができました。残念ながら、今回もオンラインでの入学式となりましたが、これまでとは違い、

■神戸 YMCA 学院専門学校 入学式

2022 年度入学式を無事終えることができました。残念ながら、今回もオンラインでの入学式となりましたが、これまでとは違い、



やっと留学生の入国緩和が進み、随時、今期の学生が入国をしております。どうか今年度は、毎日の授業を一生懸命に受けて、休

み時間に友達や先生とお話をして、家では宿題を頑張って、授業以外の YMCA の活動も楽しんで・・・。

そんないつもの YMCA の学校活動ができますように。

■ウクライナ緊急支援募金 第2次募金について

3 月初旬の日本で暮らすウクライナ人から母親を呼び寄せたいとの相談から始まった日本 YMCA 同盟、ヨーロッパ YMCA 同盟、ウクライナ YMCA との連携による避難民支援は、4 月 28 日現在、39 組 87 名の支援につながっています。避難者の受入れ支援と同時に、今後は就労や教育など生活を中心とした期のサポートが必要になります。ウクライナにいる家族の命、これからの生活、子どもの教育など、大きな不安の中にいる人々が少しでも安心して過ごせるよう、また、本国や近隣諸国で避難生活を続ける人々のためにご協力をお願い申し上げます。募金期間：2022 年 5 月 1 日～8 月 31 日 <募金使途>

(1)日本の YMCA とヨーロッパ諸国の YMCA が連携し、日本への避難を希望するウクライナの方、ご家族等の呼び寄せを希望される日本の方に、出国から来日までのトータルなサポートとケアを行います。ウクライナから近隣諸国への移動、ビザの申請、出国、渡航チケットの手配・費用の支援、来日後の生活のサポートを、一人ひとりの不安や希望を聞き取り、近隣 YMCA や関係団体と協力しながら行います。

(2)ウクライナ YMCA が行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動のために用います。ウクライナ YMCA は国内 25 拠点を有して、宿泊場所提供、食品、衣類、医薬品、衛生製品を提供しています。また、恐怖心・トラウマを抱える子どもと若者に、心理的、社会的な緊急サポートを行います。

(3)ウクライナ近隣諸国の YMCA が行う、国外に避難するウクライナの人びとへの緊急生活支援のために用います。

担当主事 坂本孝司